

盛岡市教育研究所研究指定 中間発表



思考を深め ともに学び合う児童の育成

—自らの学びをつなげる協働的な課題解決を目指して—



盛岡市立向中野小学校

思考を深め ともに学び合う児童の育成

— 自らの学びをつなげる協働的な課題解決を目指して —

国語

算数

特別支援教育

I 研究主題及び副主題

1 研究主題

思考を深め ともに学び合う児童の育成

2 副主題

自らの学びをつなげる協働的な課題解決を目指して

Ⅱ 研究主題及び副主題設定の理由



1 今日的に求められる教育の課題から

- 様々な問題に自ら立ち向かい、他者と協働して課題解決する力
- 知識や情報を活用しながら自分の考えを形成、想像する力



自らの既得の知識、学びを関連付けながら協働的に課題解決をする力の育成



Ⅱ 研究主題及び副主題設定の理由

2 本校の学校教育目標の具体化から

- 「夢」「努力」「優しさ」で笑顔あふれる未来を拓く子
- 具体的な目指す子ども像

考える子（知）

やさしい子（徳）

たくましい子（体）



課題意識をもち、互いにつながりながら学びに向かう力の育成
自らの学びを自覚し、その学びを活用しながら新たに学びを深める力の育成



Ⅱ 研究主題及び副主題設定の理由



3 児童の実態と研究の経緯から

- 令和3年度から・・・「見方・考え方」を働かせ筋道立てて考え表現

課題解決に向け、見通しをもって取り組む児童

81%（目標85%）

- 令和6年度から・・・既得の知識をメタ認知し、自ら活用し、協働的に課題解決

課題解決に向け、見通しをもって取り組む児童

85%（キャリアアンケート）

→協働的な学びを大切に



Ⅲ 研究目標



- 既得の知識や技能を自覚し、関係付けたり活用したりしながら課題解決し、新しい学びを習得していく力を育てる学習指導の在り方について授業実践を通して明らかにする。

IV 目指す学びの姿



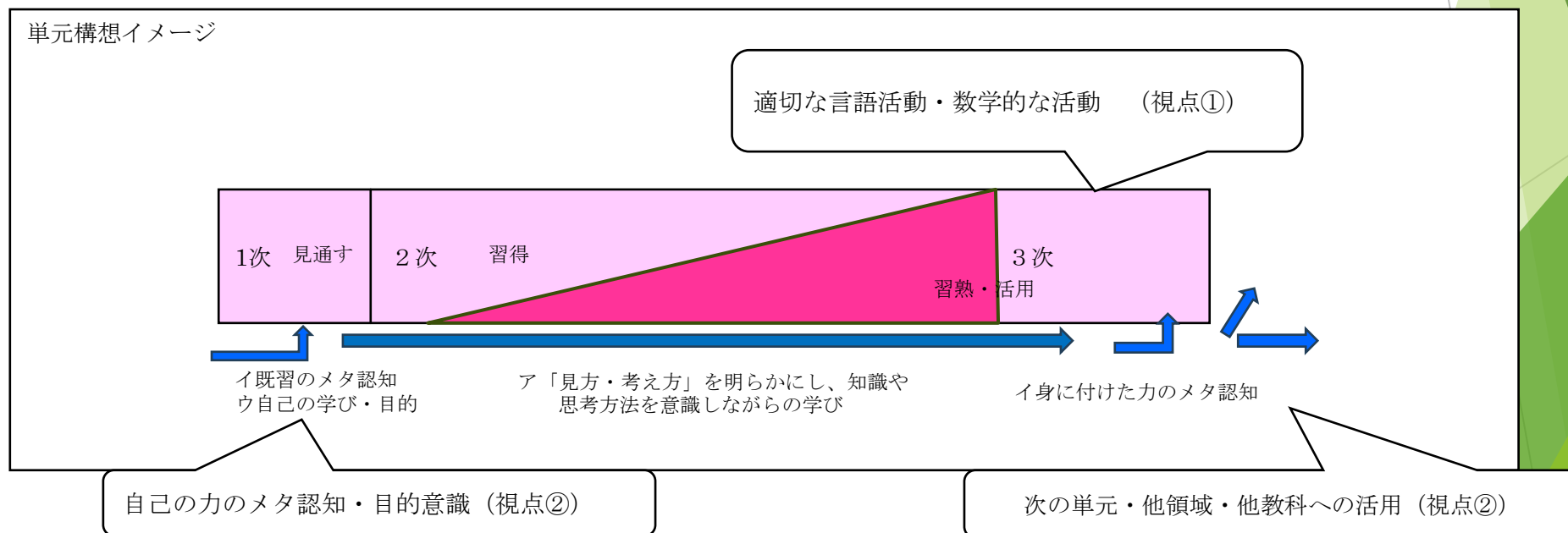
- 教科特有の「見方・考え方」を働かせ、既得の知識や技能を活用しながら課題解決する。
- 協働的な学習活動を通して、互いの考えのよさを自己の学びに生かす。

V 研究内容



(1) 既得の知識や思考方法とのつながりを明らかにし、適切な活動を設定した単元構想をすること

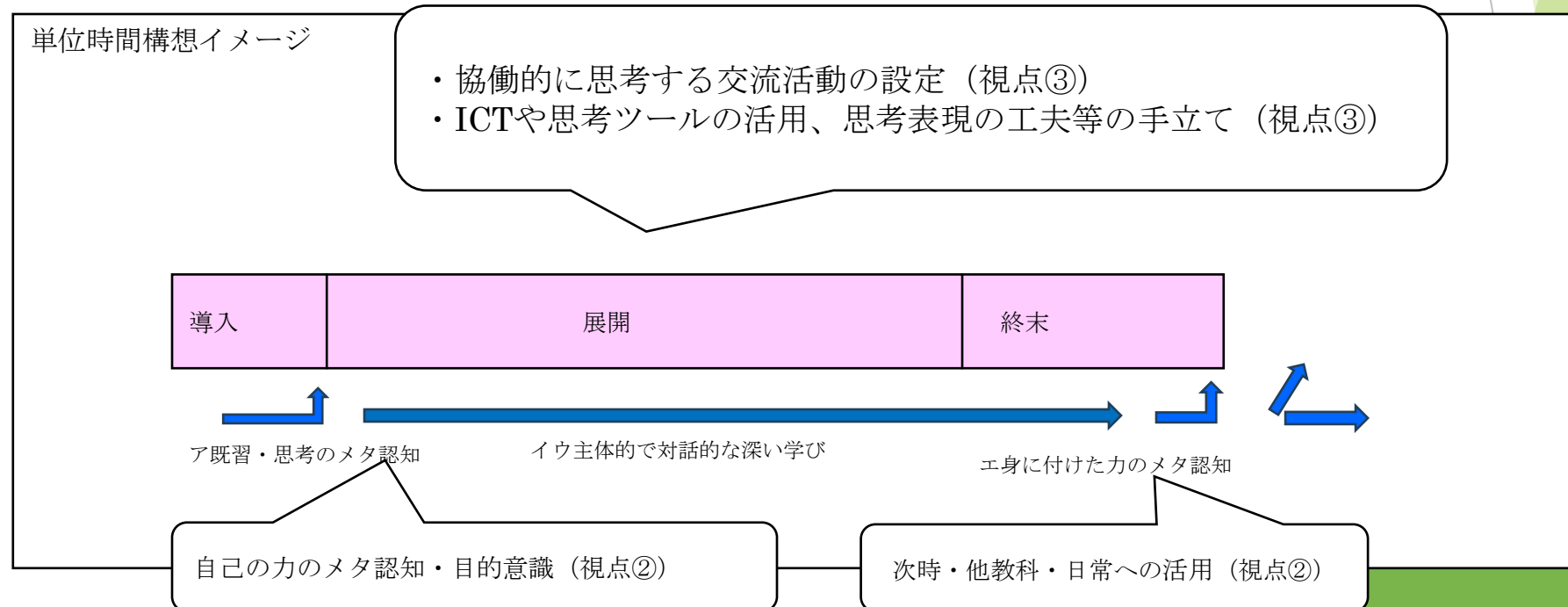
- ア 教科特有の「見方・考え方」を明らかにし、単元や学年のつながりを意識した言語活動・数学的な活動を設定する（視点①）
- イ 単元の導入や振り返りにおいて、既得の知識や思考方法の活用をメタ認知する場面を設ける（視点②）
- ウ 単元を通して自己の学びを見通し、目的をもちながら学ぶための手立てを講じる（視点②）



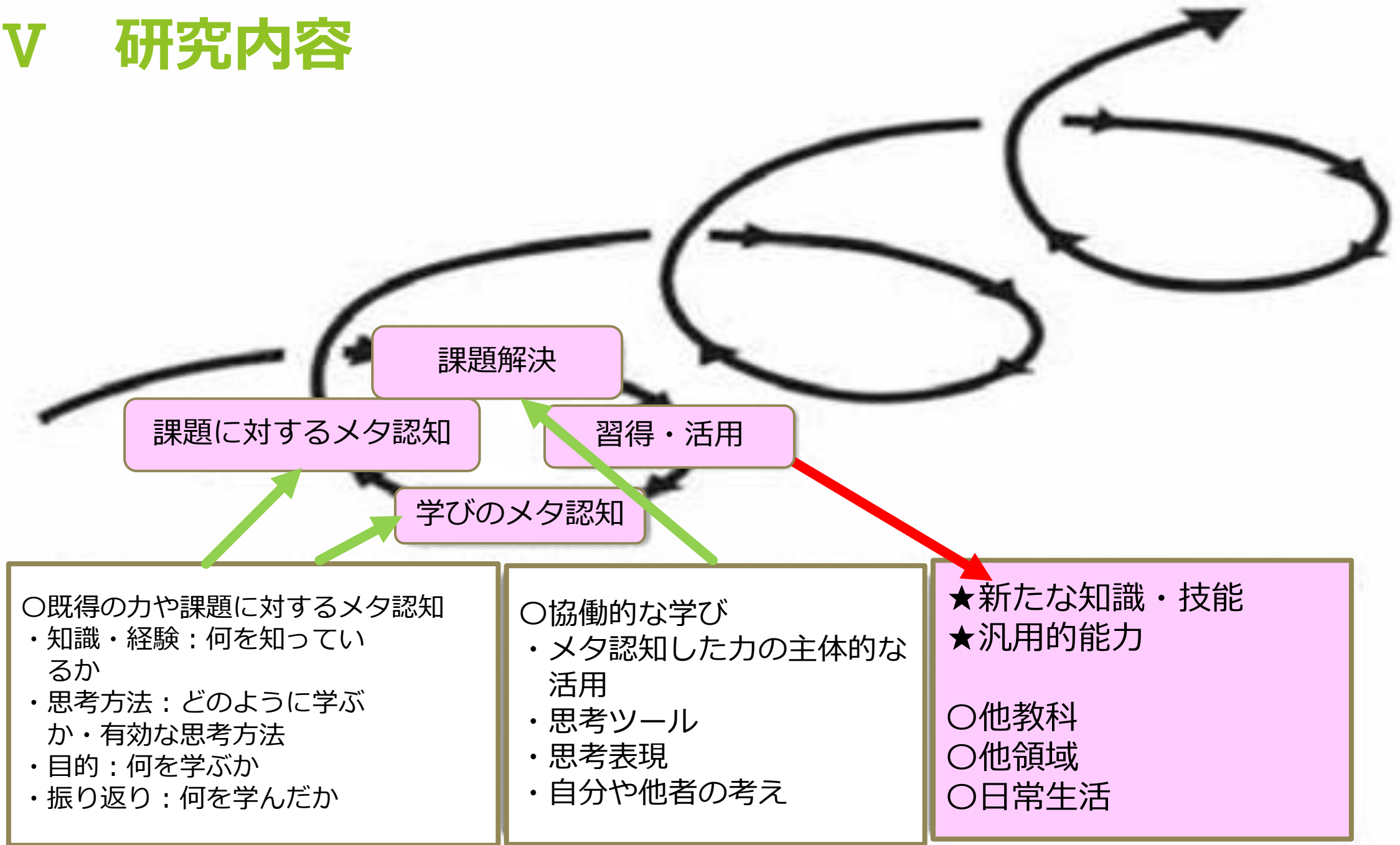
V 研究内容



- (2) 単位時間において、思考を促し学びを深めるための手立てを検討すること
- ア 単位時間の導入や振り返りにおいて、既得の知識や思考方法の活用を見通したり見つめたりする場を設定する (視点②)
 - イ 他と関わりながら協働的に思考する交流活動を設定する (視点③)
 - ウ 思考方法に合わせた思考ツールやICTの活用・思考表現等、手立てを工夫する (視点③)
 - エ 学びをメタ認知し、有用感を実感する振り返りを設定する (視点②)



V 研究内容



VI 研究方法



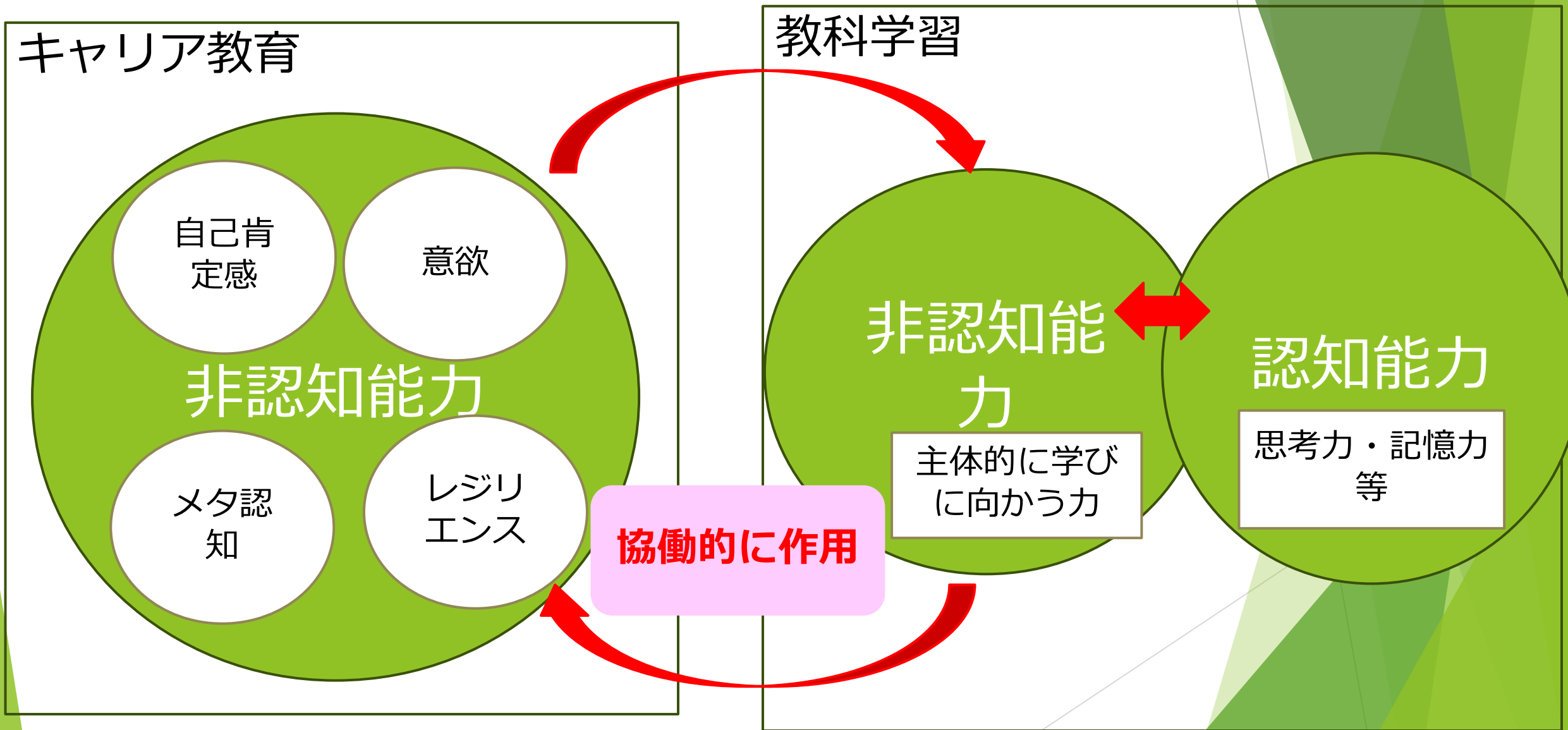
1 授業実践研究

- ・国語科・算数科・特別支援教育に分かれ、教材研究や研究授業における研究授業事前・事後研究会等で研究協議を行う。

2 理論研究

- ・先進校の授業公開、文献等から学んだことを共有する。
- ・実践資料や理論資料を収集し、活用する。

VII 研究の実際



VII 研究の実際（単元）



視点①教科特有の「見方・考え方」を明らかにし、単元や学年のつながりを意識した言語活動・数学的な活動

2 単元構想							
単元の目標	<p>【知・技】概数の用いられる目的や四則計算の見積もりの仕方を理解し、それらを活用して目的に応じて用いることができる。</p> <p>【思・判・表】日常の事象における場面において、数の処理の仕方に着目し、目的に応じて数の処理する良さについて考え、説明している。</p> <p>【態】</p> <p>日常の事象において、目的に応じて数を処理したことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。</p>						
	領域	数と計算					
	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年 中1
	項目				大きい数のしくみ がい数の表し方と使い方 小数のかけ算とわり算	小 数 のわり 算	
系統性	【これまでの学習】				【今後に向けて】		
	第3学年までの加法や乗法の学習で、計算の結果を見積もったり、第4学年のわり算の筆算の学習で、除数を何十とみて仮商をたてたり、長さやかさ、重さなどの測定値を読み取ったりする際に、およその見当を付けることを経験している。				除法の商の処理や、グラフをかく際に目盛りの単位に数を合わせる場合に用いる他、見当を付けるなど数を用いた判断や考察に広く生かされるものである。		

単元や学年のつながりや「見方・考え方」を指導案上に位置付けた例【4年 算数】

VII 研究の実際（単元）



視点②単元の導入や振り返りにおいて、既得の知識や思考方法の活用をメタ認知する場面を設ける

物語での思考方法や解決の視点

説明的文章での思考方法や解決の視点

単元導入時のメタ認知例
【2年 国語】

紙コップ花火の作り方

「紙コップ花火の作り方」につかえる力はどれでしょう。それが読みとりやすいかという点のわきになります。

「紙コップ花火の作り方」をつかえる力は、**（文字と絵）** **わかりやすくする** **くふう** **だじなじょうほう** **ぶんしとえをあわせて** **みんなも書く。**

「紙コップ花火の作り方」をつかえる力は、**（時間）** **せつめい** **わけくふう** **ぶんしとえをあわせて** **みんなも書く。**

紙コップ花火の作り方

「紙コップ花火の作り方」をつかえる力は、**（時間）** **せつめい** **わけくふう** **ぶんしとえをあわせて** **みんなも書く。**

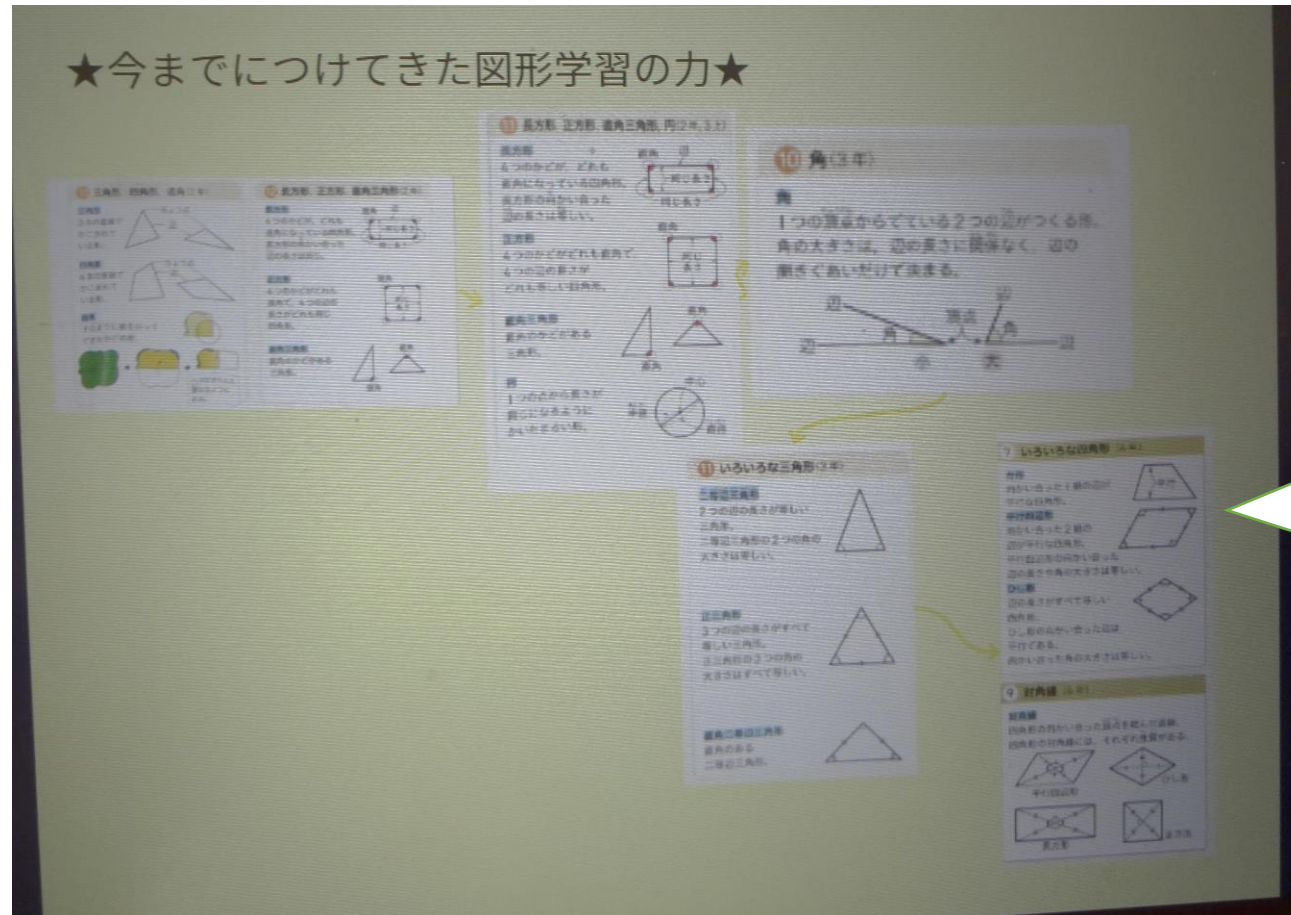
紙コップ花火の作り方

「紙コップ花火の作り方」をつかえる力は、**（時間）** **せつめい** **わけくふう** **ぶんしとえをあわせて** **みんなも書く。**

前単元、前学年で身に付けた力を意識し、本単元でどの力が活用できるかメタ認知した。このつながりを教材研究で指導者側が把握し、子どもたちと共有した。

VII 研究の実際（単元）

視点②単元の導入や振り返りにおいて、既得の知識や思考方法の活用をメタ認知する場面を設ける



単元導入時のメタ認知例
【5年 算数】

前単元、前学年で身に付けた力を意識し、本単元でどの力が活用できるかメタ認知した。このつながりをロイロノートで子どもたちと共有した。

VII 研究の実際（単元）



視点②単元の導入や振り返りにおいて、既得の知識や思考方法の活用をメタ認知する場面を設ける

①できたよ	時間の	しごと	毎日す	が分か	書き方のき	文を書くことができた	知っていることやみの回りの出来ごとをもつことができた	ツールやわざをつかって考えることができた

②つぎにどの力をどこで生かせそうですか。

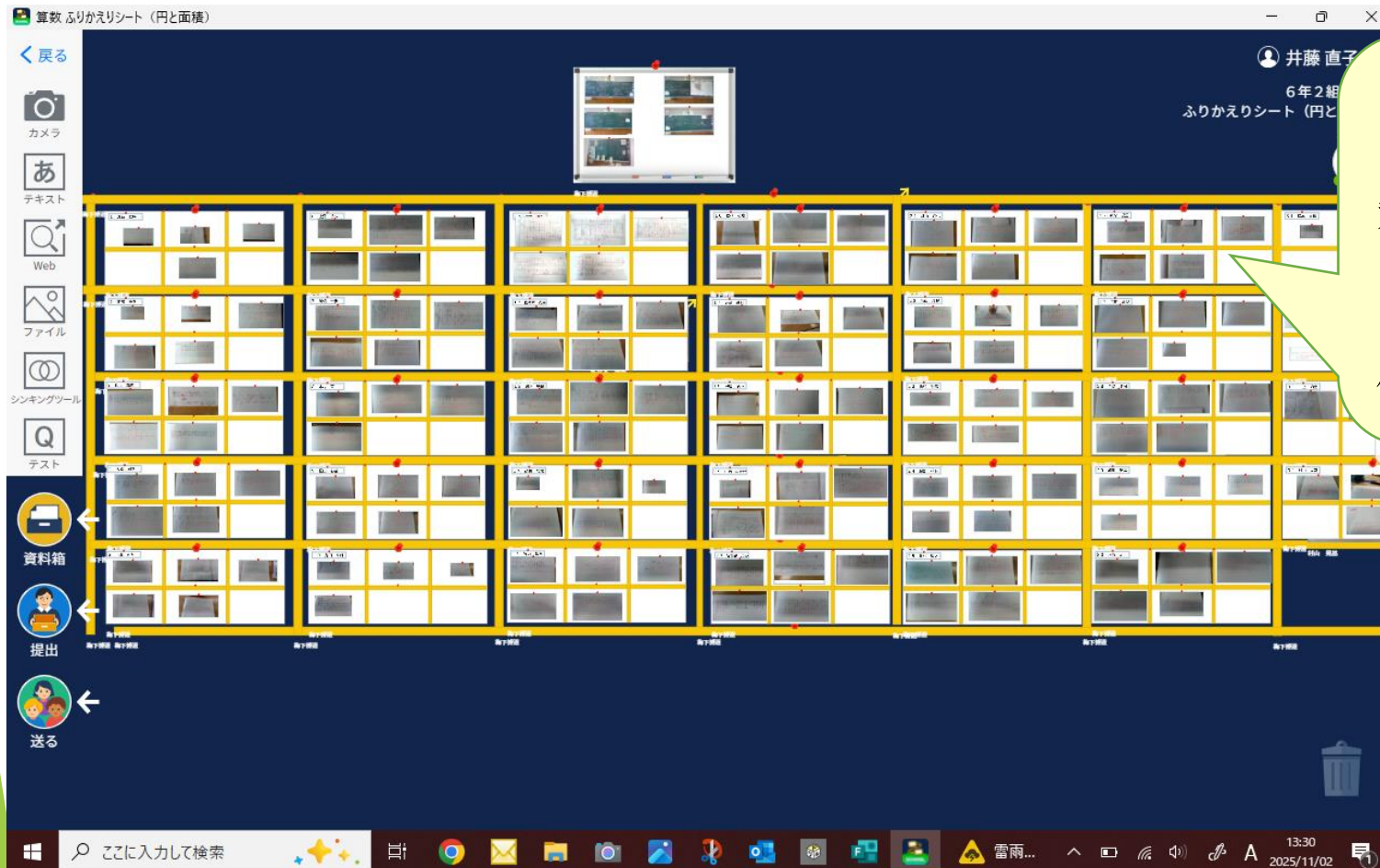
読書をするときにならったことをいかしたり知っていることなどをつなげたりして読書にならったたくさんのかたちをいかして読みたいと思いました。

振り返りでも、自分が活用した力や、単元の中で身に付けた力について視点を与えてメタ認知できるようにした。

例【2年 国語】

VII 研究の実際（単元）

視点②単元の導入や振り返りにおいて、既得の知識や思考方法の活用をメタ認知する場面を設ける



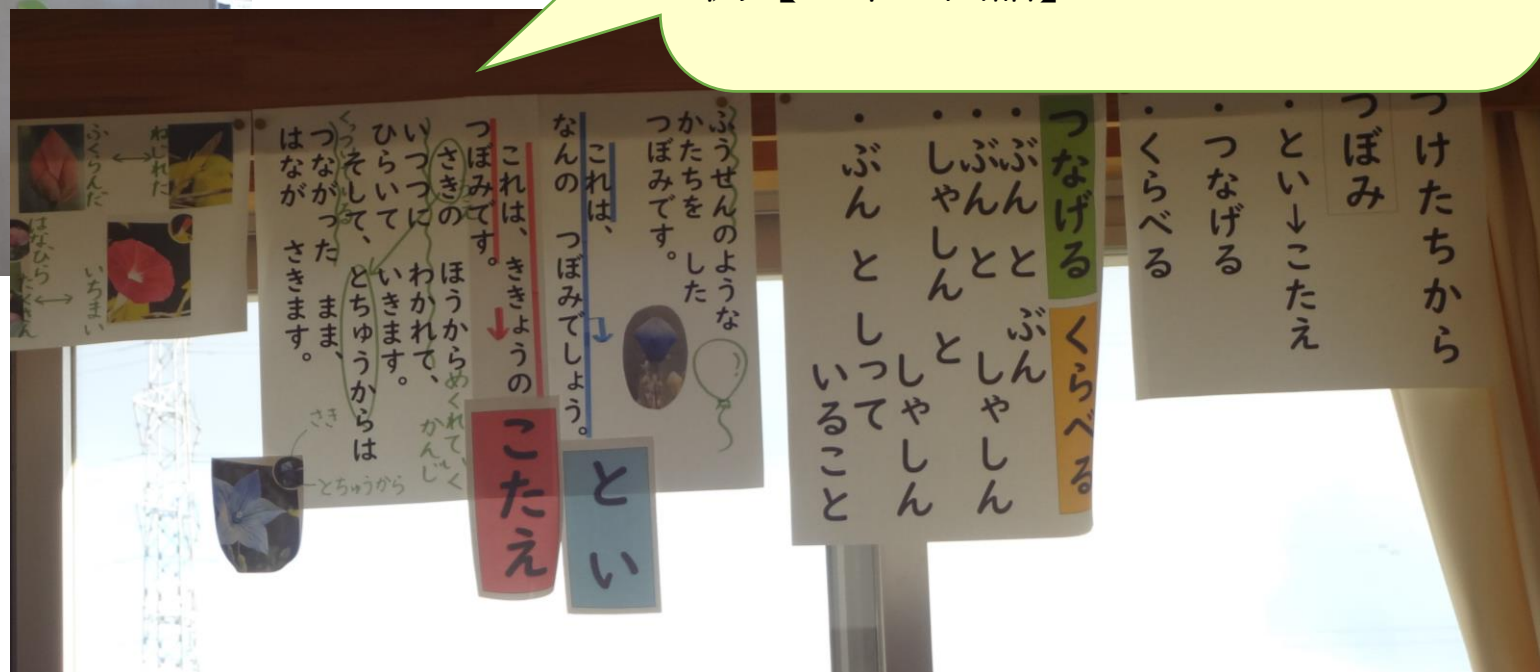
単位時間の振り返りをロイロノートに蓄積することで、既得の知識や思考方法と関連させて自分の学びの深まりをメタ認知できるようにした。

例【6年 算数】



研究揭示の文章に関心をもつことで、学習する単元を読み取ることの目的につなげた。既得の知識や技能を教室に掲示し、自己の学びを見通す手立てとした。

例【1年 国語】



VII 研究の実際（単元）



視点②単元を通して自己の学びを見通し、目的をもちながら学ぶための手立てを講じる

日頃、自分が作文の文章組立や表現の言葉を使うことに課題をもち、作文の力を伸ばしたいという願いから、児童と共に単元を設定し、計画を立てることで、自己の学びを見通す手立てとした。
例【特別支援教育 自立活動】

くわしくすることばさがし 文に	文をつくる	思いだして話す・ことばあつめ	ふりかえりカード
言葉のから、くわしい言葉とさびのことばで書きました。	集めた言葉で、文を作ってみて、作りやすかったです。	さんさのことを、進んで思い出せたと思います。言葉がたくさん出せました。	すすんでできた・分かった
言葉のから、くわしい言葉とさびのことばで、日記でもくわしく書きました。	分らないことも、タリットで調べることもとってやってみる。	思い出した言葉を使って、文をたくさん作りました。	できるよつにならぬこと









表現の言葉や文章の組立について昨年度学んだ既得の知識である語彙表や助詞などを掲示し、力のメタ認知にもつなげた。



VII 研究の実際（単元）

視点②単元を通して自己の学びを見通し、目的をもちながら学ぶための手立てを講じる

ハッピースマイルカフェを開こう<学習予定表>

日	月	火	水	木	金	土
13	14	15 メニューの 相談 	16 店の名前相 談 	17 レシピをみ よう 	18  試作品 クッキング	19
20	21 係決め 	22 看板作り 飾り作り	23 看板作り 飾り作り	24 ひつような 物作り	25 招待状作り	26
27	28 振替休日	29  店員のプロ になろう <i>おもてなしの言葉 しせい・おはさ</i>	30  店員のプロ になろう <i>あいての目を見て</i>	31  店員のプロ になろう <i>明るい声とえがき</i>	11/1 店員のプロ になろう	2
3 文化の日	4 振替休日	5 店員のプロ になろう	6	7	8	9
10	11 接客名人に なろう	12	13	14 本番 クッキング 会場準備	15 ハッピー スマイルカフェ オープン	16

自分達が栽培し収穫した野菜を使ってカフェを開くという子どもたちの願いを学ぶ目的につなげた。カレンダーにカフェ開店までの計画を教室に掲示し、自己の学びを見通す手立てとした。

例【特別支援教育 生活単元】



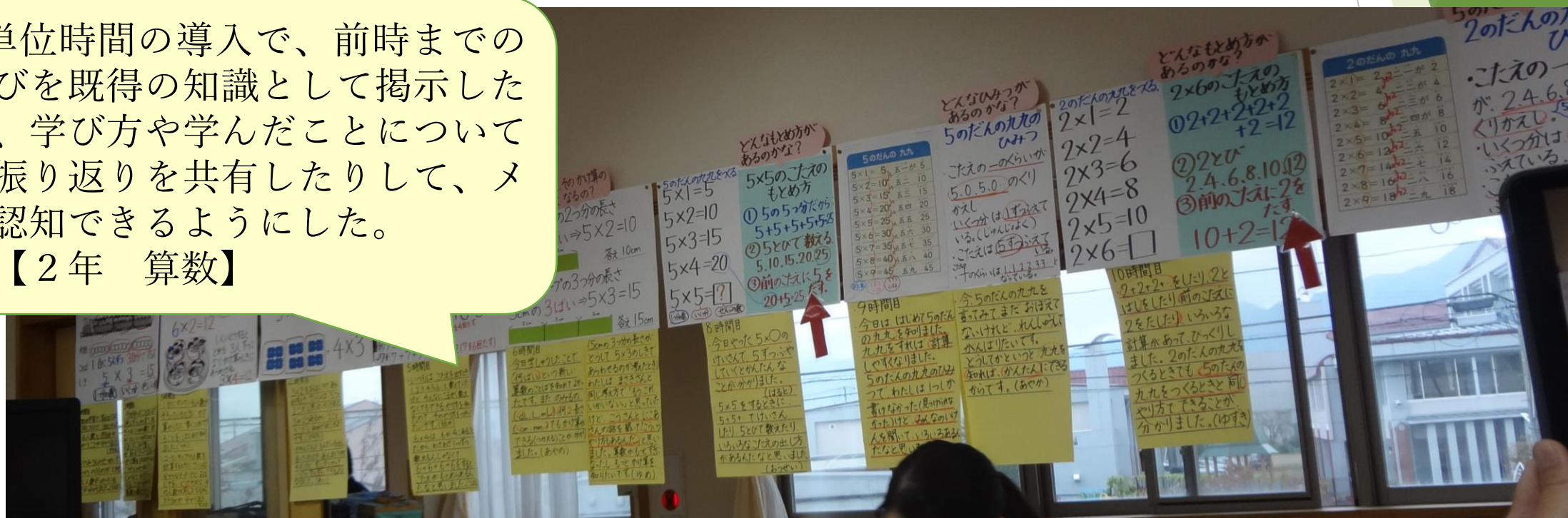
VII 研究の実際（単位時間）



- 視点②・単位時間の導入や振り返りにおいて、既得の知識や思考方法の活用をメタ認知できるようにする
- ・学びをメタ認知し、有用感を実感する振り返りを設定する

単位時間の導入で、前時までの学びを既得の知識として掲示したり、学び方や学んだことについての振り返りを共有したりして、メタ認知できるようにした。

例【2年 算数】





VII 研究の実際（単位時間）

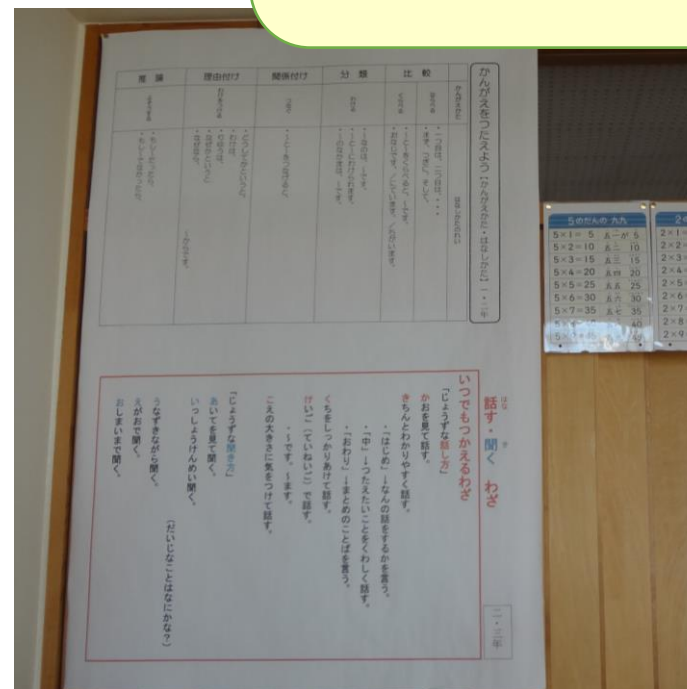
視点②・単位時間の導入や振り返りにおいて、既得の知識や思考方法の活用をメタ認知できるようにする

かんがえかた	じゅんじょづける	くらべる	ぶんるいする	かんけいづける	みかたをひやす	りゆうづける	みとおす	わかりやすくする
どのようにつける	・ならびかえる ・じゅんじょをかんがえる	・おなじところ、にているところをみつめてかんがえる ・ちがうところをみつめてかんがえる	・なかまにわけける ・なかままでまとめる ・ひとつの みかたで えらぶ	・つながてかんがえる ・かんけいのあるものをみつめて、ひやす	・ちがうみかたでかんがえる ・はんたいからもかんがえてみる	・どうしてかわけをかんがえる	・よくしる ・このあとどうするかかんがえる	・ちいさいぶんちゆうもくする ・しつていごとをたてえる
ツール	・さひょうじく ・ダイヤモンドランキング	・さひょうじく ・ペンす ・データチャート ・ダイヤモンドランキング	・XYWチャート ・ペンす	・ウエビング ・くまでチャート	・XYWチャート ・フィッシュボーン ・PMI ・くまでチャート	・くらげチャート ・データチャート	・フィッシュボーン ・キャンディチャート	・ピフミッドチャート

まなびを
ふかめる
かんがえかた
低

思考方法と思考例、思考に合うツール例を表にして各教室に掲示し、学びの中で活用できるようにした。

【全校】

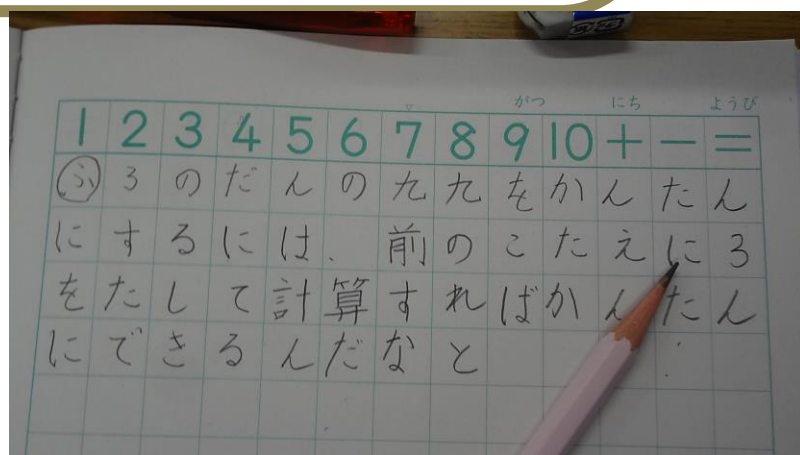
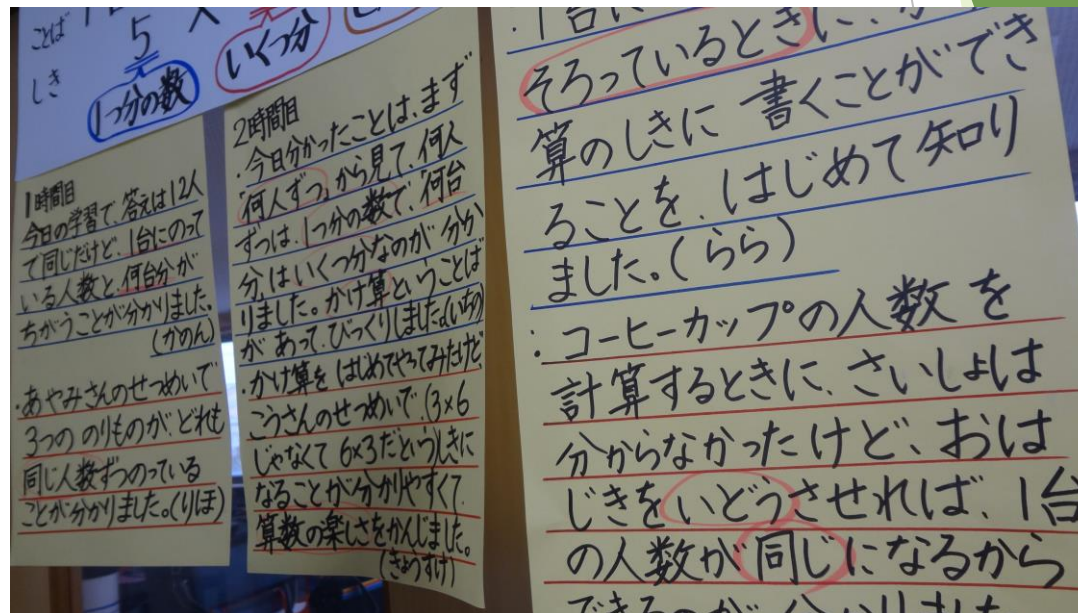


VII 研究の実際（単位時間）

視点②学びをメタ認知し、有用感を実感する振り返りを設定する



- ・ 学び方のよさ
- ・ 今日学んだこと
- ・ 生かしたいこと



視点に合わせて、学びの中で活用した思考方法のよさや友達との考えの交流などのよさ、学んだことや生かしたいことを意識的に振り返った。

例【2年 算数】

VII 研究の実際（単位時間）



視点②学びをメタ認知し、有用感を実感する振り返りを設定する

③【くらべてわかったこと】
はまぐりとたぐもくすはいをくらべておぼ
いじんでちかりやす
い
き
ま
し
た。

1年国語

ふりかえり
○ひくひくしいさんはけいさんが
のほうがはやくとけた。

1年算数

ふ. 1) 返り
い 3 人 人 の 方 法 を 知 れ た し . 説
明 する こと で . 自 分 自 身 も 考 え る よ
り 分 かり や す い 方 法 を 知 る こと が
で き た .

6年算数

解決方法や思考方法のよさ、交流することのよさにふれた振り返り
例【1年 国語・算数】【6年 算数】

VII 研究の実際（単位時間）

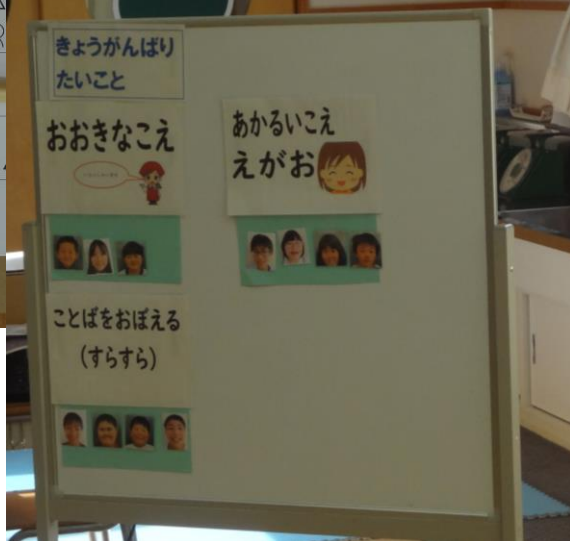
視点②学びをメタ認知し、有用感を実感する振り返りを設定する



（店員のプロになろう）ふりかえり表 月 日
さんのよかったところ（かいた人）

★おもてなしのことば	よくできた ふりかえり
① いらっしゃいませ。⇒おじぎする。	しせい・
② おせきへごあんないします。	おじぎ
③ こちらがメニュー表です。	○ △
④ ご注文は何にしますか？	目を見て
⑤ ○○と○○ですね。 ⇒でんぷんに○をつける。（2枚）	えがおで ○ △
⑥ じゅんびしますので、おまちください。 ⇒たべものとのみものをトレーにのせてはこぶ	目を見て
⑦ おまたせしました。○○と○○です。	○ △
⑧ どうぞゆっくりおめしあがりください。	目を見て
⑨ お会計はあちらです。	○ △
⑩ ありがとうございます。⇒おじぎする。	目を見て

★ きょうのめあて
おもてなしのことばを
ゆっくり はっきりと はなそう ○



各児童が本時頑張りたいことに視点を当てて見取り合い、よさにふれた振り返りを行うことで、自分の学びをメタ認知した。
例【特別支援教育 生活单元】

VII 研究の実際（単位時間）

視点③他と関わりながら協働的に思考する交流活動を設定する



自分で問題を解決する場面で、他と自由に考えを交流し、自分の考えに生かす活動を設定した。
例【4年 算数】

VII 研究の実際（単位時間）

視点③他と関わりながら協働的に思考する交流活動を設定する



自分の考えを付箋に書き、グループで交流しながら思考する活動を設定した。
例【6年 国語】

VII 研究の実際（単位時間）

視点③他と関わりながら協働的に思考する交流活動を設定する

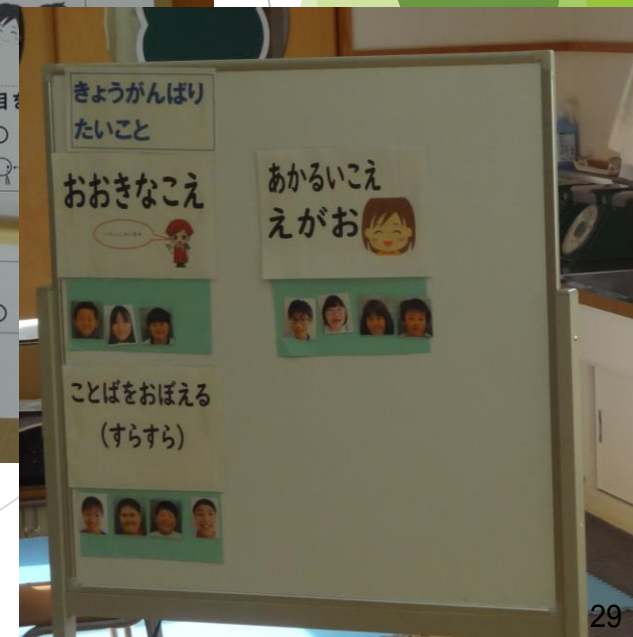
見取るときの観点は、児童が毎時間「本時がんばりたいこと」として設定してある項目とも関係付けた。



活動するグループと見取るグループに分け、互いのよさやアドバイスを共有する活動を設定した。
例【特別支援教育 生活単元】

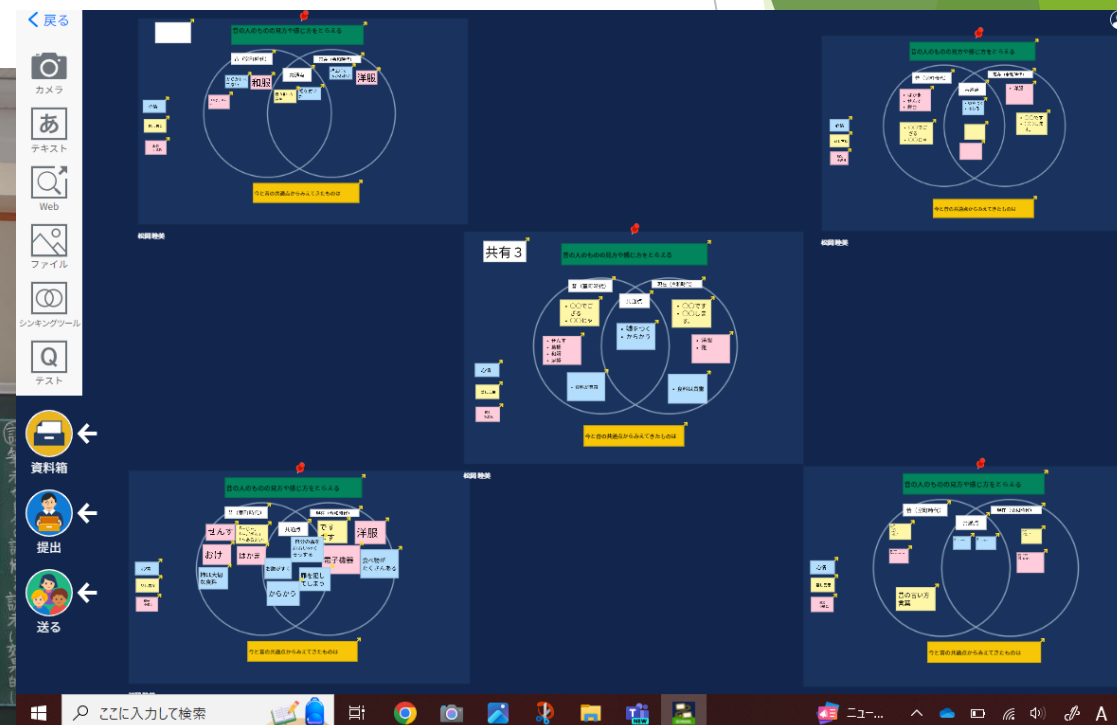
(店員のプロになろう)ふりかえり表 月 日
さんのよかったところ(かいた人:)

★おもてなしのことば		
① いらっしゃいませ。⇒おじぎする。	しせい・おじぎ ○ △ えがおで ○ △	
② おせきへごあんないします。		
③ こちらがメニュー表です。		
④ ご注文は何にしますか？		
⑤ ○○と○○ですね。 ⇒てんぴょうに○をつける。(2枚)		
⑥ じゅんびしますので、おまちください。 ⇒たべものとのみものをトレーにのせてはじぶ		目を ○ △
⑦ おましたせしました。○○と○○です。		
⑧ どうぞゆっくりおめしあがりください。		
⑨ お会計はあちらです。		
⑩ ありがとうございます。⇒おじぎする。		
★ きょうのめあて おもてなしのことばを はつきりと はなそう		



VII 研究の実際（単位時間）

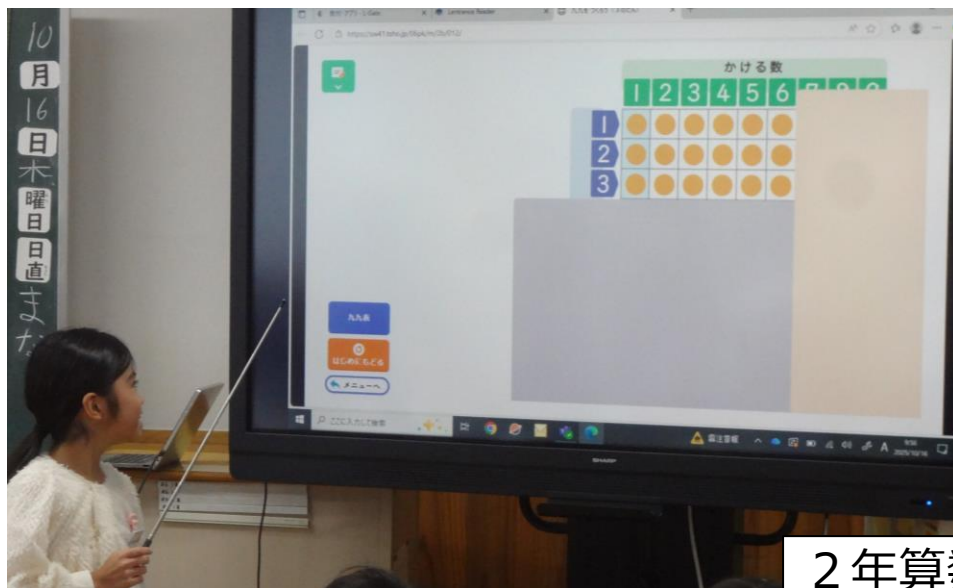
視点③思考方法に合わせた思考ツールやICTの活用・思考表現等、手立てを工夫する



思考ツールを使用し、読み取ったことを分類したり、グループで考えをまとめたりした。
例【6年 国語】

VII 研究の実際（単位時間）

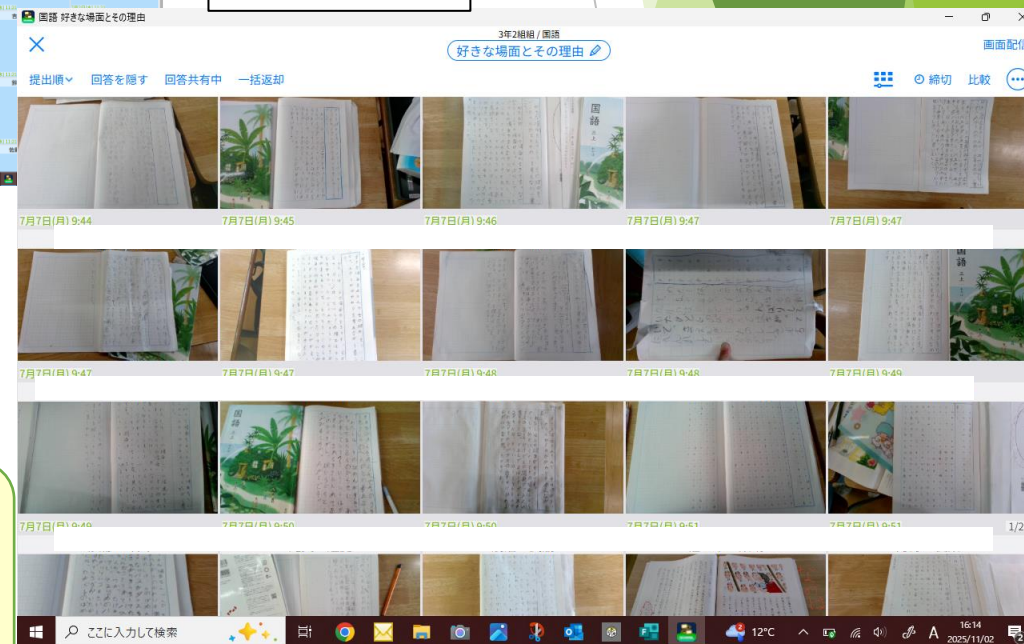
視点③思考方法に合わせた思考ツールやICTの活用・思考表現等、手立てを工夫する



2年算数



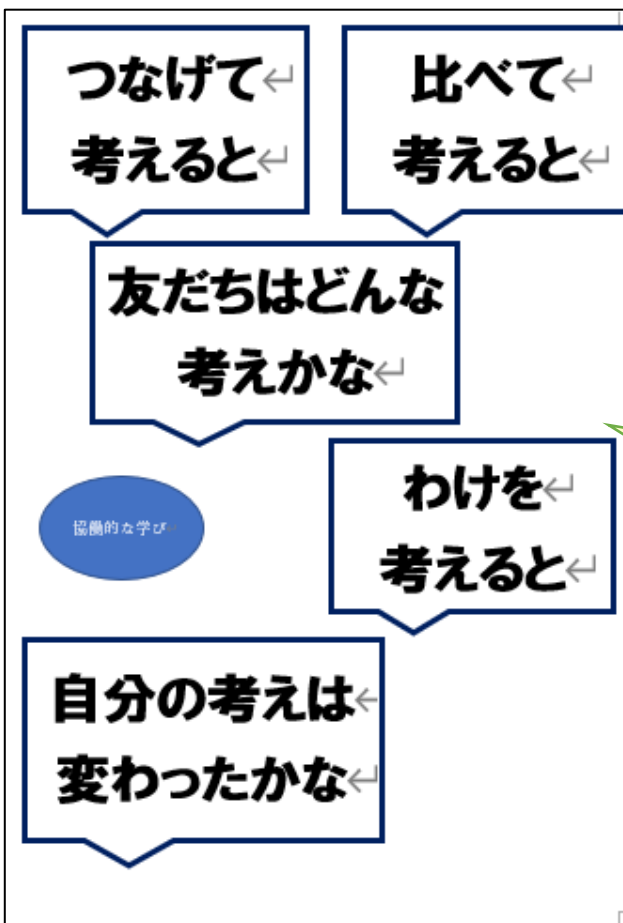
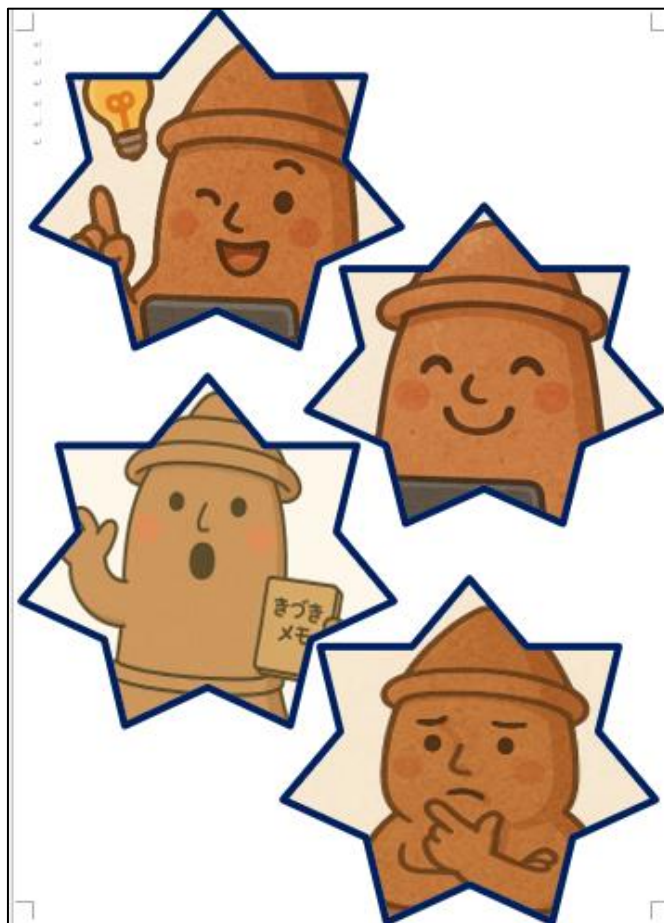
3年国語



ICTを活用し、自分の立場や考えを視覚化したり、
考えを説明するときの手立てにしたりした。
例【2年 算数】【3年 国語】

VII 研究の実際（単位時間）

視点③思考方法に合わせた思考ツールやICTの活用・思考表現等、手立てを工夫する



思考する場面で
活用するキャラク
ターと思考するとき
の表現【全校】

VII 研究の実際（単位時間）

視点③思考方法に合わせた思考ツールやICTの活用・思考表現等、手立てを工夫する



思考方法や思考表現を示し、児童が考えをもったり交流したりする場面での手立てとした。
例【6年 算数】

VII 研究の実際（日常・指導者の学び共有）

●各部会で作成した系統表や語彙を増やす取組の共有



学年別算数用語・記号一覧表(17.8.7作成)				17 豊田市立白中蔵小学校			
領域	1年	2年	3年	4年	5年	6年	中1
数	1. 1から10までの数	1. 1から10までの数	1. 1から10までの数	1. 1から10までの数	1. 1から10までの数	1. 1から10までの数	1. 1から10までの数
	11～20、100、1000	11～20、100、1000	11～20、100、1000	11～20、100、1000	11～20、100、1000	11～20、100、1000	11～20、100、1000
	10と100、100と1000	10と100、100と1000	10と100、100と1000	10と100、100と1000	10と100、100と1000	10と100、100と1000	10と100、100と1000
	10の位、100の位、1000の位	10の位、100の位、1000の位	10の位、100の位、1000の位	10の位、100の位、1000の位	10の位、100の位、1000の位	10の位、100の位、1000の位	10の位、100の位、1000の位
図形・計量	1. 長さ、面積、体積	1. 長さ、面積、体積	1. 長さ、面積、体積	1. 長さ、面積、体積	1. 長さ、面積、体積	1. 長さ、面積、体積	1. 長さ、面積、体積
	1. 長さ、面積、体積	1. 長さ、面積、体積	1. 長さ、面積、体積	1. 長さ、面積、体積	1. 長さ、面積、体積	1. 長さ、面積、体積	1. 長さ、面積、体積
	1. 長さ、面積、体積	1. 長さ、面積、体積	1. 長さ、面積、体積	1. 長さ、面積、体積	1. 長さ、面積、体積	1. 長さ、面積、体積	1. 長さ、面積、体積
	1. 長さ、面積、体積	1. 長さ、面積、体積	1. 長さ、面積、体積	1. 長さ、面積、体積	1. 長さ、面積、体積	1. 長さ、面積、体積	1. 長さ、面積、体積
算数	1. 算数用語・記号	1. 算数用語・記号	1. 算数用語・記号	1. 算数用語・記号	1. 算数用語・記号	1. 算数用語・記号	1. 算数用語・記号
	1. 算数用語・記号	1. 算数用語・記号	1. 算数用語・記号	1. 算数用語・記号	1. 算数用語・記号	1. 算数用語・記号	1. 算数用語・記号
	1. 算数用語・記号	1. 算数用語・記号	1. 算数用語・記号	1. 算数用語・記号	1. 算数用語・記号	1. 算数用語・記号	1. 算数用語・記号
	1. 算数用語・記号	1. 算数用語・記号	1. 算数用語・記号	1. 算数用語・記号	1. 算数用語・記号	1. 算数用語・記号	1. 算数用語・記号

教科書、指導要領に掲載されている「算数用語・記号」を学年毎の一覧にし、全職員で共有した。
【算数】

VII 研究の実際（日常・指導者の学び共有）

●各部会で作成した系統表や語彙を増やす取組の共有



自立活動共有シート 向中野小学校

対象児童生徒の学年、氏名
特別支援学級1年生～6年生：男子25名 女子7名 計32名

対象児童生徒の現状
障がい種（情緒17名 知的14名 聴覚1名 計32名）
情緒障がい、知的障がいをもつ本校の児童は、身体の動き（姿勢の保持、運動・動作の基本的技能等）において個々の特性にもよるがぎこちない動きである。また、顔、調子が悪い児童も多々見られる。

本立て
平成27年度から、月・水・金曜日の朝学習の時間（8時10分～25分の15分間）を使って、体を自覚めさせ動き出す活動「スマイルチャレンジタイム」を行っている。

① コグトレ棒を使った運動
 体を柔らかくする運動（ウオーミングアップ）
 素早くキャッチや片手に持ったパラソル運動


④ ケンパー運動
 ⑤ フラフープを使った運動
 ⑥ パラソル棒を使った運動①


⑦ パラソル棒を使った運動②
 ⑧ ボールを使った運動
 ⑨ 影の上を落ちないように歩く運動


⑩ 足形まわりの運動（リズムよく）
 ドラブル運動
 一歩もいっきしシユート


指導者の思い（成果と課題）
○様々な運動を4月後半から継続してきたことで、児童は体を動かすことを楽しみにするようになってきた。概数に数ける児童が増えた。
○できなかった動きができるようになった喜びを児童は実感するようになってきた。
○道具を準備（自分たちで考えたケンパー）や後片付けもみんなできてきた。
●教師は、どのような運動がさらに児童のために良いのかを見極める必要がある。
○来年度も継続しながら、できれば自立活動の時間として教育課程（時間割）の中に位置づけていければよいと思っている。

本校で実践して効果の認められる自立活動を一覧にし、全職員で共有した。【特別支援教育】

VIII 成果と課題

●成果



- ・各部会毎に、学びの系統を見通した表を作成し、意識して取り組むことができた。（特別支援教育は自立活動）
- ・児童の実態に合わせて既得の知識や技能、思考方法をメタ認知し、協働的に学ぶ手立てに取り組むことができた。
- ・ICTの活用を主に見通しをもつ場面や振り返りの場面で行う実践が増えた。

VIII 成果と課題

● 課題



- ・ まだ受け身の児童が多い。主体的に自分の学びを進める手立てのさらなる模索
- ・ 協働的に学ぶ場面での互いの考えを生かした思考
- ・ ICTの効果的活用の模索

盛岡市立向中野小学校

和衷協同